

日本語科目受講ガイダンス資料

2024年4月



「日本語を学ぼう」から
「日本語で学ぼう」まで
についてお話しします。

新潟大学国際センター



新潟大学で学ぶ日本語について

知識として単に日本語をインプットするのは、ウェブ教材等を用いて個人でもできます。しかし自身の声を発信するための日本語力の養成は、独習ではとても困難です。そのため新潟大学では、発信するための日本語力を養成することに主眼を置いています。自分の主張を様々な場面に応じて日本語で的確に発信するためには、最適な日本語がその場ですぐに取り出せる状態で、まず頭に入っていなければ間に合いません。ではそのために必要なことは何でしょうか。それは今までの文法中心の言語学習観を捨てることです。考えてみてください。これまで文法中心の学習で、日本語による豊かな発信者にあなたはなれましたか。「これだけ頑張っているのに、まだまだうまく日本語で伝えられない」と思っている人がほとんどではありませんか。

文法を勉強したら、その言語をキッチリ学んだ気にはなりません。しかし、それは「勉強した気になるだけ」であって、その言語の使い手になるためのトレーニングをしたわけではありません。日本語で発信できる「日本語の使い手」になるためには、日本語を操るためのトレーニングが必要なのです。

何らかのスポーツ経験者ならわかると思いますが、でたらめに動いていても上手にはなりません。そのスポーツが上手にできるようになるためには、基本の型を身に付ける必要があります。ですから日本語学習でもまず、この基本の型を身に付けるための地道な努力こそが求められるのです。地道な努力とは、同じことの繰り返しであっても、集中して継続し続けることです。それができれば、そして基本の型が身に付けば、そこから自然と自分の型は生まれてきます。自分の型とは、つまり応用する力です。繰り返し身に付けるという努力を続ければ、必ず誰でも応用する力にたどり着けます。

新潟大学では、この『基本の型』を身に付けるための授業は、「日本語を学ぶ」授業として発話・対話編、作文編に分けて開講しています。ある程度基本の型が身に付いている人には、上級者として『自分の型』の習得を目指し、さらに日本語に関する知識をインプットするための授業を開講しています。

また「日本語を学ぶ」授業以外にも、「日本語で学ぶ」授業では、様々な種類の自然な日本語で書かれた文章を読む読解授業や日本での就職に興味がある学生向けの授業に加え、日本人学生と一緒に学ぶ共修授業に参加できます。さらに、日本社会・文化と日本人について学ぶ授業もあります。



日本語を学ぶ

—『基本の型』の習得を目指した授業—

期間は科目により異なります。

■ターム開講

8週間（ひとつのターム）

■セメスター開講

15週間（連続するふたつのターム）

《作文編》

■セメスター開講

科目名	到達目標レベル	内容
日本語作文Ⅰ	JLPTN3	日本語レベル別に分かれています。それぞれのレベルで日本語の作文力を身に付け、総合的に日本語力を向上させることが目的です。
日本語作文Ⅱ	JLPTN 2	
日本語作文Ⅲ	JLPTN 1	
日本語作文Ⅳ	JLPTN 1 以上	

日本語能力試験>N1～N5:認定の目安 <https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>

《発話・対話編》

科目名	到達目標レベル	内容
■ターム開講 日本語Ⅰ	CEFR A1	CEFR のレベル別に分かれています。実際の場面で日本語を使ってコミュニケーションできるようになることが目的です。
■ターム開講 日本語Ⅱ	CEFR A1	
■ターム開講 日本語Ⅲ	CEFR A2	CEFR と日本語能力検定試験のレベルは対応していませんが、目安は以下のようになります。参考にしてください。 CEFR A1 : 日本語能力試験 N5 相当 CEFR A2 : 日本語能力試験 N4 相当 CEFR B1 : 日本語能力試験 N3 相当
■ターム開講 日本語Ⅳ	CEFR A2	
■セメスター開講 日本語Ⅴ	CEFR A2～B1	
■セメスター開講 日本語Ⅵ	CEFR B1	
■セメスター開講 日本語Ⅶ	CEFR B1	
■セメスター開講 日本語入門	CEFR A1	

—『自分の型』の習得を目指した授業（さらに日本語に関わる知識をインプットする）—

科目名	内容		
■セメスター開講 日本語読解 Ⅰ / Ⅱ / Ⅲ / Ⅳ / Ⅴ / Ⅵ	JLPT-N2 以上が望ましい。Ⅰ～Ⅵは内容が異なる。 <table border="1"> <tr> <td>○事実関連 Ⅰ: 新聞記事など Ⅱ: 論文の読解など Ⅲ: 新聞の論説文など</td> <td>○文学関連 Ⅳ: 詩歌など Ⅴ: 小説など Ⅵ: 和歌・俳句など</td> </tr> </table>	○事実関連 Ⅰ: 新聞記事など Ⅱ: 論文の読解など Ⅲ: 新聞の論説文など	○文学関連 Ⅳ: 詩歌など Ⅴ: 小説など Ⅵ: 和歌・俳句など
○事実関連 Ⅰ: 新聞記事など Ⅱ: 論文の読解など Ⅲ: 新聞の論説文など	○文学関連 Ⅳ: 詩歌など Ⅴ: 小説など Ⅵ: 和歌・俳句など		
■ターム開講 英語による日本語文法解説 中国語による日本語文法解説	日本語の文法について、解説するレクチャー（一方向型）授業。いずれも中級（JLPT-N2 レベル）の教科書を使用します。		

— 『ビジネス日本語』『日本で働く』について—

科目名	内容
■ Semester 開講 ビジネス日本語	JLPTN2 以上が望ましい。実践練習を通して日本で就職した際必要となる日本語能力を養成する。
■ Semester 開講 日本で働く	JLPTN2 以上が望ましい。日本での就職活動についての知識を学んだり、就職活動の際に必要な表現力を身に着けたりする。

日本語で学ぶ

「多文化間共修 A/B/C/D」 ■ターム開講 *A は日本語・英語両方を使用。

「アクティブラーニング B/C」 ■ターム開講 *B は日本語・英語両方を使用。C は主に日本語で行う。

「国際共修 B」 ■ Semester 開講

「日本事情自然系 A」 ■ Semester 開講 * JLPT-N2 レベルが望ましい。

英語で学ぶ

「アクティブラーニング A」 ■ターム開講

「日本と外国人」 ■ターム開講

「日本文化入門 I / II」 ■ターム開講

授業の内容をシラバスで確認しましょう！

<https://www.niigata-u.ac.jp/campus/life/class/course/>

<注意事項>

- 1学期の授業期間は4月8日(月)から始まります。大学の授業暦を見て、あなたが履修する科目の授業開始日をしっかり確認しましょう。
- どのクラスも正規学部生および協定校からの学部交換学生が優先です。クラスに余裕がある場合には、大学院学生も受講できます。
- クラスに余裕がある場合には、研究生も日本語Ⅰ～Ⅶの受講を認めます。すでに日本に来ている研究生に限定します。
- 学生の家族・研究員・外国人教員は受講できません。

大切なこと

1. 対面(教室)で行う科目・オンラインで行う科目があります。

対面授業の場合、シラバスで教室を確認してください。

オンライン授業の場合、パソコンか、タブレットを準備してください。

⇒ パソコンは、カメラ・マイクがあれば、デスクトップでも、ノートでもOK!

【注意】ZoomやTeamsが使えないと、それらを使用する科目は受講できません。

2. 履修申請は「学務情報システム」で行います。

科目の申請は4月1日(月)からできます。ただし、入学日以降でないとできません。

第1ターム・1学期科目の期限：**第1回目の授業日の前日まで(4/1以降)**

第2ターム科目の期限：**4月11日(木)まで**

《履修申請の手順》

⇒ 4月1日または入学日になったらすぐに[学務情報システム](#)にログインし、申請する。

⇒ ※オンライン授業 ZOOM の場合、「授業連絡通知」でアクセス情報を確認する。

※対面授業の場合、シラバスに書いてある教室に行く。



& \$ & (% % &

& \$ & ((%

<https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

% & & \$ & ((, & \$ & (, %

「êlú	Lêi	q'	, :	7Öëix	½	ÖÇê u!... \ r	"ñçêñ r v"•ð-
240G4009	JLPT-N1 A	1	J ½-B	Ü	20		2Ü
240G4010	JLPT-N2 A	1	J ½-B	R	20		2Ü
240G4011	ÖÇê'™	1	J ½-B	è	10		2Ü
240G4012	ÖÇê'š	1	J ½-B	F	10		2Ü
240G4013	ÖÇê'›	1	J ½-B	R	10		2Ü
240G4014	ÖÇê'œ	1	J ½-B	è	10		2Ü
240G4015	ÖÇêŁt ,{pÆð ÊŁt•L}•ÿ lÆut¥	1	J ½-B	F	30		2Ü
240G4016	ÖÇêŁt ,,pÆð ÊŁt•è ut¥	1	J ½-B	Ü	30		2Ü
240G4017	ÖÇêŁt ,,pÆð ÊŁt•ÿ yè" ut¥	1	J ½-B	Ü	30		2Ü
240G4018	ÖÇêŁt 9{ ,Łt•½Put¥	1	J ½-B	F	30		2Ü
240G4019	ÖÇêŁt 9{p ,Łt•"ut¥	1	J ½-B	è	30		2Ü
240G4020	ÖÇêŁt 9, p ,Łt•èPut¥	1	J ½-B	R	30		2Ü
240G4021	ÖÇêŁðð	3	J ½-B	F R -	20	r	2Ü
240G4022	ÖÇê•	4	J ½-B	F R - è	20	r	2Ü
240G4023	ÖÇêž	5	J ½-B	F R - è Ü	20	r	2Ü
240G4028	ÖÇÆÜÜ•'	2	J ½-B	-	20		2Ü
240G4030	ÑŒË•ÖÇê	2	J ½-B	F	15		2Ü
240G4031	ÖÇer%Z	2	J ½-B	Ü	20		2Ü
240G3257	O 0•@è-îé svU\ÑŒË•€±ÿãÉ"-mãñ\$	2	J ½-B	è	30 (15/15)*		2Ü
240G3258	O 0•{,^syç%,8•èbjj ?it\$	2	J ½-B	F	30 (15/15)*		2Ü

{,^ i ÖÇê ,^ i

(, *) %

「êlú	Lêi	q'	, :	7Öëix	½	ÖÇê u!... \ r	"ñçêñ r v"•ð-
241G4001	ðçv"-ÖÇê Qt'	1	J ½-B	-	50		2Ü
241G4002	! çv"-ÖÇê Qt'	1	J ½-B	R	50		2Ü
241G4003	ÖÇê'™	2	J ½-B	F R - è	20	r	r {=RRP
241G4004	ÖÇê'›	2	J ½-B	F R - è	20	r	2Ü
241G4024	ÖÇê ?ðð™	1	J ½-B	Ü	100	r	r {=RRP
241G4025	ÖÇê ?ððš	1	J ½-B	-	50	r	2Ü
241G3213	-ÄjÖç-Éñ@&	1	J ½-B	-	30	r	2Ü
241G3214	-ÄjÖç-Éñ@&	1	J ½-B	Ü	30 (15/15)*		2Ü
241G3215	ÖÇes•	1	J ½-B	Ü	100	r	r {=RRP
241G3267	! ? 0\$	1	J ½-B	-	30 (15/15)*	r	2Ü
241G3268	! ? 0%	1	J ½-B	è	30 (15/15)*		2Ü
241G3269	! ? 0&	1	J ½-B	-	30 (15/15)*		r {=RRP
241G3270	! ? 0'	1	J ½-B	R	30 (15/15)*		2Ü

{,^ i ÖÇê ,^ i

& * %\$,) (%%

「êlú	Lêi	q'	, :	7Öëix	½	ÖÇê u!... \ r	"ñçêñ r v"•ð-
242G4005	ðçv"-ÖÇê Qt'	1	J ½-B	-	50		2Ü
242G4006	! çv"-ÖÇê Qt'	1	J ½-B	R	50		2Ü
242G4007	ÖÇêš	2	J ½-B	F R - è	20	r	r {=RRP
242G4008	ÖÇêœ	2	J ½-B	F R - è	20	r	2Ü
242G4026	ÖÇê ?ðð™	1	J ½-B	Ü	100	r	r {=RRP
242G4027	ÖÇê ?ððš	1	J ½-B	-	50	r	2Ü
242G3230	-ÄjÖç-Éñ@&	1	J ½-B	-	30	r	2Ü
242G3231	-ÄjÖç-Éñ@%	1	J ½-B	-	30 (15/15)*		2Ü
242G3232	-ÄjÖç-Éñ@&	1	J ½-B	Ü	30 (15/15)*		2Ü
242G3233	ÖÇes•	1	J ½-B	Ü	100	r	r {=RRP
242G3271	! ? 0\$	1	J ½-B	-	30 (15/15)*	r	2Ü
242G3272	! ? 0%	1	J ½-B	è	30 (15/15)*		2Ü
242G3273	! ? 0&	1	J ½-B	-	30 (15/15)*		r {=RRP
242G3274	! ? 0'	1	J ½-B	R	30 (15/15)*		2Ü

{,^ i ÖÇê ,^ i